



ゲード・ワーシグ DNV GL LNG 燃料船事業部長

1988年ハノーバー大学にてエネルギープロセス技術の工学修士を取得し、液化ガス技術に専念する中で、90年代初期に液化水素海上交通システムの開発における博士号を取得した。その後2013年までドイツ運輸省においてIMO関連のコンサルタントとしてIGCコード改正、新IGCコード開発及びIGFコード開発に携わる。また、LNGバンカリングに関するISO及びSGMFの作業を含む液化ガス関連におけるSIGTTOやISO及びSGMF作業部会にも貢献している。DNV GLでは、プロセス技術、ガス技術及び燃料電池技術のコンサルティング部門の責任者としてガス技術活動を先導し、現在代替燃料技術の責任者としてLNG燃料船事業部長を務める。